

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010080

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	町道路面清掃事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	路面清掃延長		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	187,020m		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○町道路面清掃 L=187,020m	町道路面清掃 L=37,420m	町道路面清掃 L=37,700m	町道路面清掃 L=37,800m	町道路面清掃 L=37,900m	町道路面清掃 L=36,200m	
	事業費(千円)	11,240	2,230	2,350	2,480	2,380	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	11,240	1,800	2,230	2,350	2,480	2,380	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,599	1,733	2,106	2,160	2,300	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	10,599	1,733	2,106	2,160	2,300	2,300	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 町道路面清掃L=37,335m	(実施内容等) 町道路面清掃 L=37,335m	(実施内容等) 町道路面清掃 L=37,335m	(実施内容等) 町道路面清掃 L=35,500m	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	37,335m	37,335m	37,335m	35,500m	35,070m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	96%	94%	92%	93%	97%
		全体達成率	15%	34%	53%	74%	94%
	備考欄						

事業名	町道路面清掃事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者	作成者	職氏名	土木管理係	大庭 悟

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町道路面清掃延長		
【抱える課題やニーズは】	町道の環境悪化と通行障害		指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町道の安全な通行の確保		① 町道路面清掃延長/町道路面清掃延長	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	町道の環境保全と安全な通行の確保			目標値	35,070 m
			実績値	35,070 m	
			達成度	100.0 %	
		②	目標年度	平成29年度	
			目標値	〇〇	
			実績値	〇〇	
			達成度	#DIV/0! %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間委託により実施	入札により民間業者に委託し、路面を清掃する作業を実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道の環境保全と安全な通行を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		当該事業を実施したことにより、町道の環境保全と安全な通行が確保された。
有効/概ね有効 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		一部の地域について直営で実施したことにより、事業費を抑制できたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由		町道の環境保全と安全な通行が確保されたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
道路環境を保全し、交通の安全を確保するためには、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
道路環境を保全し、交通の安全を確保するためには、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止